

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年5月18日
【四半期会計期間】	第68期第1四半期（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）
【会社名】	フリージア・マクロス株式会社
【英訳名】	F R E E S I A M A C R O S S C O R P O R A T I O N
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥山 一寸法師
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03 - 5818 - 1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03 - 5818 - 1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年8月13日に提出した第68期（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）の四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、清流監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出致します。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

第2【事業の状況】

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（1）業績の状況

（2）財政状態の分析

第5【経理の状況】

2 監査証明について

1【四半期連結財務諸表】

（1）【四半期連結貸借対照表】

（2）【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

（3）【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

（セグメント情報等）

（1株当たり情報）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

（訂正前）

回次	第67期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第68期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第67期
会計期間	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
売上高 (千円)	2,755,651	2,105,954	11,478,669
経常利益又は経常損失() (千円)	<u>127,994</u>	<u>63,965</u>	<u>529,760</u>
当期純利益又は四半期純損失() (千円)	<u>156,475</u>	<u>85,959</u>	<u>55,954</u>
純資産額 (千円)	<u>6,688,321</u>	<u>6,782,671</u>	<u>6,907,397</u>
総資産額 (千円)	<u>14,228,760</u>	<u>15,447,885</u>	<u>15,697,630</u>
1株当たり純資産額 (円)	<u>9.02</u>	<u>9.27</u>	<u>9.48</u>
1株当たり当期純利益金額または 1株当たり四半期純損失金額() (円)	<u>0.35</u>	<u>0.19</u>	<u>0.12</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	<u>28.6</u>	<u>27.0</u>	<u>27.2</u>

回次	第67期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第68期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第67期
会計期間	自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	102,691	562,345	935,996
投資活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	21,274	137,633	92,101
財務活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	331,529	35,523	310,296
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	911,639	1,030,895	1,695,350
従業員数 (人)	482	476	442

- 注略 -

(訂正後)

回次	第67期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第68期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第67期
会計期間	自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日
売上高 (千円)	2,755,651	2,105,954	11,478,669
経常利益又は経常損失() (千円)	<u>117,601</u>	<u>53,539</u>	<u>574,827</u>
当期純利益又は四半期純損失() (千円)	<u>101,622</u>	<u>70,243</u>	<u>101,067</u>
純資産額 (千円)	5,820,544	5,930,371	6,046,958
総資産額 (千円)	<u>13,384,281</u>	<u>14,686,850</u>	<u>14,904,674</u>
1株当たり純資産額 (円)	<u>9.67</u>	<u>9.92</u>	<u>10.10</u>
1株当たり当期純利益金額または 1株当たり四半期純損失金額() (円)	<u>0.23</u>	<u>0.16</u>	<u>0.22</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	<u>32.5</u>	<u>30.4</u>	<u>30.5</u>
営業活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	102,691	562,345	935,996
投資活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	21,274	137,633	92,101
財務活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	331,529	35,523	310,296
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	911,639	1,030,895	1,695,350
従業員数 (人)	482	476	442

- 注略 -

第2【事業の状況】

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

(2)財政状態の分析

(訂正前)

(1)業績の状況

- 前略 -

かかる情勢の下での当グループの経営成績は、売上高は、2,105百万円と前年同四半期と比べ649百万円(23.6%)減少しました。また営業利益は、6百万円(前年同四半期営業損失67百万円)、経常損失は、63百万円(前年同四半期経常損失127百万円)、四半期純損失は、85百万円(前年同四半期純損失156百万円)となりました。

- 中略 -

(2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ249百万円減少し、15,447百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が減少したことなどによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、125百万円減少し、8,665百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金並びに未払法人税等が減少したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ124百万円減少し、6,782百万円となりました。

- 後略 -

(訂正後)

(1) 業績の状況

- 前略 -

かかる情勢の下での当グループの経営成績は、売上高は、2,105百万円と前年同四半期と比べ649百万円(23.6%)減少しました。また営業利益は、14百万円(前年同四半期営業損失59百万円)、経常損失は、53万円(前年同四半期経常損失117百万円)、四半期純損失は、70百万円(前年同四半期純損失101百万円)となりました。

- 中略 -

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ217百万円減少し、14,686百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が減少したことなどによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、101百万円減少し、8,756百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金並びに未払法人税等が減少したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ116百万円減少し、5,930百万円となりました。

- 後略 -

第5【経理の状況】

- 前略 -

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については監査法人銀河による四半期レビューを受け、また、当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については清流監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第67期連結会計年度

監査法人銀河

第68期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間

清流監査法人

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については監査法人銀河による四半期レビューを受け、また、当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については清流監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査人は次のとおり交代しております。

第67期連結会計年度

監査法人銀河

第68期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間

清流監査法人

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の前第1四半期連結会計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,416,872	2,055,985
受取手形及び売掛金	1,165,249	1,154,195
たな卸資産	1 2,735,378	1 2,456,500
短期貸付金	1,967,972	1,844,001
繰延税金資産	38,488	41,926
その他	332,990	286,006
貸倒引当金	50,647	55,867
流動資産合計	7,606,303	7,782,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,239,758	2,224,890
機械装置及び運搬具	462,430	461,128
土地	3,567,205	3,542,023
建設仮勘定	66,290	59,933
その他	101,708	101,352
減価償却累計額	1,657,250	1,629,647
減損損失累計額	230,537	230,537
有形固定資産合計	4,549,604	4,529,144
無形固定資産		
のれん	2 703,956	2 726,514
その他	161,275	161,539
無形固定資産合計	865,231	888,053
投資その他の資産		
投資有価証券	69,181	51,764
関係会社株式	1,874,165	1,990,169
長期貸付金	67,873	49,332
繰延税金資産	30,713	43,956
その他	512,228	493,650
貸倒引当金	127,415	131,189
投資その他の資産合計	2,426,745	2,497,683
固定資産合計	7,841,582	7,914,881
資産合計	15,447,885	15,697,630
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	815,846	1,035,069
短期借入金	1,321,391	1,402,966
1年内返済予定の長期借入金	542,981	575,862
1年内償還予定の社債	262,000	262,000
未払法人税等	39,913	63,367
完成工事補償引当金	85,972	90,915
賞与引当金	57,130	23,300
その他	2,090,610	2,343,569
流動負債合計	5,215,845	5,797,051
固定負債		
社債	772,500	772,500
長期借入金	1,659,407	1,695,493
繰延税金負債	20,656	21,106
退職給付引当金	114,847	121,035
資産除去債務	2,242	-
その他	879,713	383,046
固定負債合計	3,449,368	2,993,181
負債合計	8,665,214	8,790,232

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766
資本剰余金	973,803	973,803
利益剰余金	<u>1,143,589</u>	<u>1,238,388</u>
自己株式	18,095	18,094
株主資本合計	<u>4,177,063</u>	<u>4,271,864</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,507	5,924
評価・換算差額等合計	<u>4,507</u>	<u>5,924</u>
少数株主持分	<u>2,610,114</u>	<u>2,641,457</u>
純資産合計	<u>6,782,671</u>	<u>6,907,397</u>
負債純資産合計	<u>15,447,885</u>	<u>15,697,630</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,416,872	2,055,985
受取手形及び売掛金	1,165,249	1,154,195
たな卸資産	1 2,735,378	1 2,456,500
短期貸付金	1,967,972	1,844,001
繰延税金資産	38,488	41,926
その他	332,990	286,006
貸倒引当金	50,647	55,867
流動資産合計	7,606,303	7,782,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,239,758	2,224,890
機械装置及び運搬具	462,430	461,128
土地	3,567,205	3,542,023
建設仮勘定	66,290	59,933
その他	101,708	101,352
減価償却累計額	1,657,250	1,629,647
減損損失累計額	230,537	230,537
有形固定資産合計	4,549,604	4,529,144
無形固定資産		
その他	161,275	161,539
無形固定資産合計	161,275	161,539
投資その他の資産		
投資有価証券	69,181	51,764
関係会社株式	1,809,386	1,927,726
長期貸付金	67,873	49,332
繰延税金資産	38,414	39,959
その他	512,228	493,650
貸倒引当金	127,415	131,189
投資その他の資産合計	2,369,667	2,431,242
固定資産合計	7,080,547	7,121,926
資産合計	14,686,850	14,904,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	815,846	1,035,069
短期借入金	1,321,391	1,402,966
1年内返済予定の長期借入金	542,981	575,862
1年内償還予定の社債	262,000	262,000
未払法人税等	39,913	63,367
完成工事補償引当金	85,972	90,915
賞与引当金	57,130	23,300
その他	2,090,610	2,343,569
流動負債合計	5,215,845	5,797,051
固定負債		
社債	772,500	772,500
長期借入金	1,659,407	1,695,493
繰延税金負債	40,781	29,533
退職給付引当金	114,847	121,035
資産除去債務	2,242	-
負債のれん	2 71,140	2 59,056
その他	879,713	383,046
固定負債合計	3,540,633	3,060,665
負債合計	8,756,479	8,857,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資本剰余金	973,803	973,803
利益剰余金	<u>1,505,533</u>	<u>1,584,618</u>
自己株式	<u>18,095</u>	<u>18,094</u>
株主資本合計	<u>4,539,008</u>	<u>4,618,093</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	<u>73,045</u>	<u>70,644</u>
評価・換算差額等合計	<u>73,045</u>	<u>70,644</u>
少数株主持分	<u>1,464,408</u>	<u>1,499,509</u>
純資産合計	<u>5,930,371</u>	<u>6,046,958</u>
負債純資産合計	<u>14,686,850</u>	<u>14,904,674</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	2,755,651	2,105,954
売上原価	1,891,678	1,339,704
売上総利益	863,973	766,249
販売費及び一般管理費	1 931,441	1 759,642
営業利益又は営業損失()	67,468	6,606
営業外収益		
受取利息	1,589	4,720
受取配当金	469	1,260
負ののれん償却額	3,040	3,040
受取家賃	-	14,877
その他	17,020	12,217
営業外収益合計	22,119	36,116
営業外費用		
支払利息	29,199	18,896
持分法による投資損失	27,718	60,906
その他	25,728	26,885
営業外費用合計	82,645	106,688
経常損失()	127,994	63,965
特別利益		
前期損益修正益	6,100	-
貸倒引当金戻入額	23,160	5,085
その他	3	-
特別利益合計	29,264	5,085
特別損失		
貸倒損失	38,101	-
固定資産除却損	389	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,047
前期損益修正損	279	-
特別損失合計	38,770	1,047
税金等調整前四半期純損失()	137,500	59,927
法人税、住民税及び事業税	38,658	30,720
過年度法人税等	-	11,420
法人税等調整額	30,470	15,232
法人税等合計	8,187	57,374
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	117,301
少数株主利益又は少数株主損失()	10,788	31,342
四半期純損失()	156,475	85,959

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	2,755,651	2,105,954
売上原価	1,891,678	1,339,704
売上総利益	863,973	766,249
販売費及び一般管理費	1 923,403	1 751,604
営業利益又は営業損失()	59,430	14,644
営業外収益		
受取利息	1,589	4,720
受取配当金	469	1,260
負ののれん償却額	5,476	5,476
受取家賃	-	14,877
その他	17,020	12,217
営業外収益合計	24,556	38,552
営業外費用		
支払利息	29,199	18,896
持分法による投資損失	27,800	60,955
その他	25,728	26,885
営業外費用合計	82,727	106,737
経常損失()	117,601	53,539
特別利益		
前期損益修正益	6,100	-
貸倒引当金戻入額	23,160	5,085
その他	3	-
特別利益合計	29,264	5,085
特別損失		
貸倒損失	38,101	-
固定資産除却損	389	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	1,047
前期損益修正損	279	-
特別損失合計	38,770	1,047
税金等調整前四半期純損失()	127,107	49,502
法人税、住民税及び事業税	38,658	30,720
過年度法人税等	-	11,420
法人税等調整額	30,470	15,232
法人税等合計	8,187	57,374
少数株主損益調整前四半期純損失()	135,294	106,876
少数株主損失()	33,672	36,632
四半期純損失()	101,622	70,243

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月 1 日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月 1 日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	137,500	59,927
減価償却費	28,065	25,166
のれん償却額	22,558	22,558
退職給付引当金の増減額(は減少)	286	6,188
貸倒引当金の増減額(は減少)	36,204	8,994
受取利息及び受取配当金	2,058	5,980
支払利息	29,199	18,896
持分法による投資損益(は益)	27,718	60,906
貸倒損失	38,101	-
為替差損益(は益)	2,636	3,736
固定資産除却損	389	-
売上債権の増減額(は増加)	310,796	134,532
たな卸資産の増減額(は増加)	65,875	278,878
未払消費税等の増減額(は減少)	21,272	7,114
仕入債務の増減額(は減少)	65,997	11,522
その他	21,330	107,727
小計	151,600	489,600
利息及び配当金の受取額	2,109	3,741
利息の支払額	28,103	22,312
法人税等の支払額	22,915	54,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,691	562,345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	19,013	75,724
定期預金の払戻による収入	-	50,381
関係会社株式の取得による支出	-	1,000
投資有価証券の取得による支出	-	5,000
有形固定資産の取得による支出	12,543	47,244
貸付けによる支出	80,310	635,749
貸付金の回収による収入	91,343	592,281
敷金及び保証金の差入による支出	-	26,439
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,392
投資その他の資産の増減額(は増加)	751	9,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,274	137,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	189,541
短期借入金の返済による支出	99,162	138,676
長期借入れによる収入	-	45,000
長期借入金の返済による支出	98,116	51,500
社債の償還による支出	126,500	-
自己株式の取得による支出	105	1
配当金の支払額	7,646	8,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	331,529	35,523
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	250,112	664,455
現金及び現金同等物の期首残高	1,161,751	1,695,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 911,639	1 1,030,895

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	127,107	49,502
減価償却費	28,065	25,166
のれん償却額	12,084	12,084
退職給付引当金の増減額(は減少)	286	6,188
貸倒引当金の増減額(は減少)	36,204	8,994
受取利息及び受取配当金	2,058	5,980
支払利息	29,199	18,896
持分法による投資損益(は益)	27,800	60,955
貸倒損失	38,101	-
為替差損益(は益)	2,636	3,736
固定資産除却損	389	-
売上債権の増減額(は増加)	310,796	134,532
たな卸資産の増減額(は増加)	65,875	278,878
未払消費税等の増減額(は減少)	21,272	7,114
仕入債務の増減額(は減少)	65,997	11,522
その他	21,330	107,727
小計	151,600	489,600
利息及び配当金の受取額	2,109	3,741
利息の支払額	28,103	22,312
法人税等の支払額	22,915	54,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,691	562,345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	19,013	75,724
定期預金の払戻による収入	-	50,381
関係会社株式の取得による支出	-	1,000
投資有価証券の取得による支出	-	5,000
有形固定資産の取得による支出	12,543	47,244
貸付けによる支出	80,310	635,749
貸付金の回収による収入	91,343	592,281
敷金及び保証金の差入による支出	-	26,439
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,392
投資その他の資産の増減額(は増加)	751	9,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	21,274	137,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	189,541
短期借入金の返済による支出	99,162	138,676
長期借入れによる収入	-	45,000
長期借入金の返済による支出	98,116	51,500
社債の償還による支出	126,500	-
自己株式の取得による支出	105	1
配当金の支払額	7,646	8,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	331,529	35,523
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	250,112	664,455
現金及び現金同等物の期首残高	1,161,751	1,695,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 911,639	1 1,030,895

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1 たな卸資産の内訳 商品 46,758千円 製品 51,038千円 原材料 268,557千円 仕掛品 531,151千円 未成工事支出金 377,115千円 販売用不動産 1,449,067千円 貯蔵品 11,689千円	1 たな卸資産の内訳 商品 34,978千円 製品 44,957千円 原材料 199,064千円 仕掛品 480,618千円 未成工事支出金 331,827千円 販売用不動産 1,356,668千円 貯蔵品 8,385千円
2 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりです。 のれん <u>892,482千円</u> 負ののれん <u>188,526千円</u> 差引 <u>703,956千円</u>	2 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりです。 のれん <u>896,756千円</u> 負ののれん <u>170,242千円</u> 差引 <u>726,514千円</u>
3 手形割引高及び裏書譲渡高 受取手形割引高 85,494千円 営業外受取手形割引高 104,518千円	3 手形割引高及び裏書譲渡高 受取手形割引高 84,991千円 営業外受取手形割引高 130,722千円 受取手形裏書譲渡高 2,000千円

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1 たな卸資産の内訳 商品 46,758千円 製品 51,038千円 原材料 268,557千円 仕掛品 531,151千円 未成工事支出金 377,115千円 販売用不動産 1,449,067千円 貯蔵品 11,689千円	1 たな卸資産の内訳 商品 34,978千円 製品 44,957千円 原材料 199,064千円 仕掛品 480,618千円 未成工事支出金 331,827千円 販売用不動産 1,356,668千円 貯蔵品 8,385千円
2 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりです。 のれん <u>109,139千円</u> 負ののれん <u>180,280千円</u> 差引 <u>71,740千円</u>	2 のれん及び負ののれんの表示 のれん及び負ののれんは相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりです。 のれん <u>123,659千円</u> 負ののれん <u>182,716千円</u> 差引 <u>59,056千円</u>
3 手形割引高及び裏書譲渡高 受取手形割引高 85,494千円 営業外受取手形割引高 104,518千円	3 手形割引高及び裏書譲渡高 受取手形割引高 84,991千円 営業外受取手形割引高 130,722千円 受取手形裏書譲渡高 2,000千円

(セグメント情報等)

(訂正前)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	製造供給事業 部門(千円)	住宅関連事業 部門(千円)	流通サービス 事業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	382,282	2,240,830	132,537	2,755,651	-	2,755,651
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	2,857	-	2,857	(2,857)	-
計	382,282	2,243,687	132,537	2,758,508	(2,857)	2,755,651
営業利益又は営業損失 ()	109,552	54,857	15,632	70,327	2,857	67,468

- 後略 -

【セグメント情報】

- 前略 -

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	702,161	1,314,432	89,361	2,105,954
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	10,251	5,143	15,394
計	702,161	1,324,683	94,504	2,121,348
セグメント利益	7,822	17,876	6,282	31,980

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額と差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	31,980
セグメント間取引消去	224
のれんの償却額	25,598
四半期連結損益計算書の営業利益	6,606

- 後略 -

(訂正後)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	製造供給事業 部門(千円)	住宅関連事業 部門(千円)	流通サービス 事業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	382,282	2,240,830	132,537	2,755,651	-	2,755,651
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	2,857	-	2,857	(2,857)	-
計	382,282	2,243,687	132,537	2,758,508	(2,857)	2,755,651
営業利益又は営業損失 ()	109,552	62,895	15,632	62,288	<u>2,857</u>	<u>59,430</u>

- 後略 -

【セグメント情報】

- 前略 -

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	702,161	1,314,432	89,361	2,105,954
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	10,251	5,143	15,394
計	702,161	1,324,683	94,504	2,121,348
セグメント利益	7,822	17,876	6,282	31,980

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額と差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	31,980
セグメント間取引消去	224
のれんの償却額	<u>17,560</u>
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>14,644</u>

- 後略 -

(1株当たり情報)

(訂正前)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
9円27銭	9円48銭

2 1株当たり四半期純損失金額

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額() 0円35銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在していないために記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額() 0円19銭 同左

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
四半期純損失()(千円)	156,475	85,959
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	156,475	85,959
期中平均株式数(千株)	450,172	450,160

- 後略 -

(訂正後)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
9円92銭	10円10銭

2 1株当たり四半期純損失金額

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額() 0円23銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在していないために記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額() 0円16銭 同左

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
四半期純損失()(千円)	101,622	70,243
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	101,622	70,243
期中平均株式数(千株)	450,172	450,160

- 後略 -

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月17日

フリージア・マクロス株式会社
取締役会 御中

清流監査法人

代表社員 業務執行社員	公認会計士	廣 澤 智 印
代表社員 業務執行社員	公認会計士	小河原 宗生 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフリージア・マクロス株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フリージア・マクロス株式会社及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 5 月17日

フリージア・マクロス株式会社
取締役会 御中

清流監査法人

代表社員 公認会計士 安 田 裕 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 廣 澤 智 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフリージア・マクロス株式会社の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フリージア・マクロス株式会社及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。